

⑥刊行物 Area14

鎌倉恵子「〔聞き書き〕人形浄瑠璃文楽の裏方

—囃子の世界を中心に—吉田篁助師 藤舎秀左久師 望月大明吉師に聞く」

『無形民俗文化財研究協議会報告書』（⑥無04-07-2/5：無形文化遺産部出版関係事業の一環として実施）

無形文化遺産部では毎年テーマを定め、保存会関係者・行政担当者・研究者などが一堂に会して無形の民俗文化財の保護と継承について研究協議する会を開催する。その第2回に当たる本年度は「市町村合併と無形民俗文化財の保護」をテーマとして開催し、その報告・総合討議の内容などをまとめて報告書として刊行した。

テーマ「市町村合併と無形民俗文化財の保護」

I. 鈴木規夫「序にかえて」

II. 俵木悟「趣旨説明」

III. 報告

*報告1 木村弘樹「市町村合併による民俗芸能の保護と継承
—相模原市内の一人立ち三匹獅子舞を中心に—」

*報告2 千田和文「市町村合併と保存会活動—盛岡市の事例を中心に—」

*報告3 寺田昭士「町村合併と無形民俗文化財の保存と活用
—とくに学校教育において—」

*報告4 戸田 剛「市町村合併と民俗芸能の伝承—
『合併から政令市へ』浜松市を例に—」

*報告5 須田弘宗「市町村合併が綾子舞の保存振興に与えた影響」

IV. 総合討議

V. 参考資料

VI. アンケート集計結果

VII. あとがき



「保存科学」47号の出版（⑥保04-07-2/5）

所属研究員による文化財の保存と修復に関する科学的調査、研究、受託研究報告等の論文、報告および修復処置概報等を掲載している。

『保存科学』第47号

小椋大輔、犬塚将英、石崎武志、銚井修一、北原博幸、多羅間次郎

「高松塚古墳石室解体時の壁画保存のための温湿度環境の制御」

Magdi KHALIL and Takeshi ISHIZAKI, "Moisture Characteristic Curves of Tuff Breccia Stone"

木川りか、間渕創、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保「高松塚古墳発掘・石室解体作業に伴う取合部・断熱覆屋使用木材等の防カビ対策：DDACの検討と施工」

早川泰弘「蛍光X線分析による国宝吉祥天像の彩色材料調査」

北野信彦、小檜山一良、竜子正彦、高妻洋成、宮腰哲雄

「桃山文化期における輸入漆塗料の流通と使用に関する調査」



- 北野信彦、狭川真一、窪寺茂「元興寺五重小塔の外観塗装材料に関する調査」
 犬塚将英、龍泉寺由佳、石崎武志「石水博物館千歳文庫内の温湿度解析」
 谷口陽子、ジョイ マズレック「パーミヤーン仏教壁画の材質分析 (3) —ガスクロマトグラフィー／質量分析法を使用した有機物の分析：B(d)窟—」
 高林弘実、小瀬戸恵美、于宗仁、范宇権「敦煌莫高窟第285窟壁画に使用された彩色材料の非接触分析」
 宇野朋子、森井順之、薛平、張国彬、侯文芳
 「敦煌莫高窟第53窟の窟内環境—温湿度実測調査と気流解析—」
 朽津信明「カンボジア・タ・ネイ遺跡における蘚苔類の繁茂と砂岩の風化」
 木川りか、杉山純多、高鳥浩介、間渕創、佐野千絵、三浦定俊
 「高松塚古墳発掘・解体作業に伴う生物調査の概要について」
 木川りか、間渕創、佐野千絵、三浦定俊「キトラ古墳の微生物等の状況報告(2007)」
 佐野千絵、犬塚将英、間渕創、木川りか、吉田直人、森井順之、加藤雅人、降幡順子、石崎武志、三浦定俊「キトラ古墳保護覆屋内の環境について (3) —カビ点検報告記録の解析—」
 犬塚将英「ガス電子増幅フォイルを用いた文化財のX線透過撮影のための検出器の開発Ⅱ」
 松島朝秀、三浦定俊「文化財の透過X線撮影における蛍光増感スクリーンの特性」
 吉田直人
 「ファイバー送受光型分光光度計による平面文化財資料の反射スペクトル測定における誤差に関する考察」
 間渕創、佐野千絵「コンクリート壁面における付着真菌の累積挙動」
 犬塚将英、新田建史、石崎武志「静岡県立美術館における温熱環境の測定Ⅱ」
 吉田直人、佐野千絵「文化財保存施設におけるジクロロボス蒸散殺虫剤の使用について」
 鈴木雅文、山路康弘、楠京子、森井順之、川野邊渉「重要文化財八窓庵中柱の修復」
 梶井基充、谷口陽子、大竹秀実
 「パーミヤーン仏教壁画の保存修復 (3) —I 窟およびN(a)窟における保存修復」
 豊島久乃、清水真一、青木繁夫、田代亜紀子
 「我が国の文化遺産国際協力事業の動向と課題—財源別に整理した事業実績の集計結果より—」
 吉田直人、佐野千絵、石崎武志「展示公開施設の館内環境調査報告—平成18年度—」
 吉田直人、佐野千絵、石崎武志、三浦定俊「25年目を迎える保存担当学芸員研修」

第30回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会報告書 (⑥無05-07-1/1)

2007年2月14日～16日に当研究所セミナー室で開催したシンポジウムの各発表及び討論をまとめ、日本語版を刊行した。なお英語版はホームページ上で公開する。

「第30回文化財の保存修復に関する国際研究集会 無形文化遺産の保護 —国際的協力と日本の役割—」

鈴木規夫「刊行に当たって」

基調講演

1. 宮田繁幸 (東京文化財研究所)

「日本の無形文化遺産保護と無形文化遺産保護条約」

2. 愛川紀子 (ユネスコ)「ユネスコ無形文化遺産保護条約

—その採択 (2003) から第1回政府間委員会開催 (2006.11) まで」

セッションⅠ：各国の無形文化遺産保護の現状と課題Ⅰ

白庚勝 (中国・中国民間文芸家協会)「中国の無形文化遺産保護の国際的重要性」

